

2020 TOP INTERVIEW



医療法人睦み会城西病院は昭和34年の開院から60周年を迎えた昨年、名称を「医療法人むつみホスピタル」と改称し、新棟も完成するなど、精神科医療の次なるステージへと踏み出した。新棟には精神科救急入院

料病棟を設置し、こころの病を患った際、迅速かつ手厚い医療によって早期に社会復帰ができる医療体制を整えた。またプライバシー確保や快適さを追求した外来機能、全職種スタッフがワンフロアに集まって執務する「スタックフロンズ」の設置など、さまざまな面で機能強化した病院へと進化させた。井上理事長は

みんなの価値を大切に作る病院へ

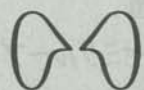
医療法人むつみホスピタル 理事長 井上 秀之氏

「地域に開かれた病院として、受診しやすく回復に向けて快適に過ごせる環境を整えるとともに、多職種チームによる患者さんの価値を大切にすることを支えてくれるリカバリーに伴走していきたい」と話す。

「このころの病は、孤立化や就労不安、貧困などさまざまな問題とリンクしている。そのような負担を少しでも軽減する

ため、在宅支援チームを作って地域で暮らす患者さんを支えているほか、徳島ヴォルティスによる精神障がい者フットサル交流会を通じてスポーツによる回復の可能性も模索しているという。「医療福祉という枠にとどまらず、サッカーのようなさまざまな地域の資源を通して多面的・多層的に患者さんと関わりを持てれば」と期待を込める。

「恩師である精神科医との出会いをきっかけに、精神科医療にやりがいと誇りを持って取り組んでいるという井上理事長。患者の伴走者として、また医療法人を率いるトップとして「法人理念に共感してくれるスタッフ一人一人の価値をも大切にしながら、チームとなって地域に根ざした精神科医療・支援を実践していきたい」と決意を語った。

 **むつみホスピタル**

徳島市南矢三町3丁目11-23 TEL.088-631-0181
<https://www.mutsumi-h.jp>